

平成30年11月教育委員会定例会会議録

平成30年11月5日 開催

静岡市教育委員会

平成30年11月静岡市教育委員会定例会次第

- 1 日時
平成30年11月 5 日（月） 午後 2 時
- 2 場所
静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室
- 3 日程
 - (1) 開会
 - (2) 会議録署名人の指定
 - (3) 教育長の報告
 - (4) 議案
議案第16号 平成30年度補正予算案について
 - (5) その他
 - (6) 閉会

平成 30 年 11 月 教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 5 日 (月) 午後 2 時 開会
- 2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3 階 第 1 会議室
- 3 出席者 教育委員 教育長 池谷 眞樹 委 員 佐野 嘉則
委 員 橋本ひろ子 委 員 杉山 節雄
委 員 松村 龍夫 委 員 川村 美智

教育委員会事務局

教育統括監	望月 敬剛
教育局次長	高津 祐志
教育局理事 (教育政策担当)	甲 猛志
参与兼教育総務課長	秋山 健
教育総務課教育力向上政策担当課長	西島 弘道
教職員課課長補佐兼管理係長 (代理出席)	島田 裕介
教職員課厚生・給与担当課長兼給与係長	秋山 知
教育施設課	村上 徹真
参与兼学校教育課長	川島 広己
学校教育課特別支援教育センター担当課長	渡邊 俊夫
児童生徒支援課指導主事 (代理出席)	伏見 倫也
学校給食課長	坂井 義則
参与兼教育センター所長	瀧浪 泰
中央図書館長	市川 智章
教育総務課課長補佐兼総務係長	宮城島清也
教育総務課主査	澤野 倫世

4 日 程

(1) 開会

池谷教育長 ただいまから平成30年11月教育委員会定例会を開会いたします。

(2) 会議録署名人の指定

池谷教育長 本日の会議録署名人を川村委員に指定

(3) 教育長の報告

池谷教育長 資料「11月定例会 教育長報告」により報告
ここで、ただいま報告いたしました中で、10月14日に実施した千代田小学校の学校視察に参加していただいた委員より、ご報告をお願いいたします。

橋本委員 とても大きく伝統のある学校ですよね。皆さんでいろんな環境を乗り越え、今はとても落ち着いていて、先生方もみんな仲良く精力的に、チームになって教育活動にあたっているなという、良い印象を受けて帰ってまいりました。

杉山委員 千代田小学校は、私が以前PTA会長を務めた学校でして、久しぶりに、また懐かしい思いで参加しました。昨年はいじめの関係などいろいろな問題があって、年度初めは先生方が戸惑っていたようなところがあったと聞いていたんですが、それも最近は解消されて、とても落ち着いた学校経営をされているという説明を受けましたし、私もそう感じました。
とにかく大きな学校で、今まで視察した学校の中で1クラスの人数が一番多いものですから、教室の中もいっぱいなんですよ。これは先生も大変だなと感じました。

川村委員 私もお二人の委員とほぼ同感で、先生方がすごく一生懸命やられているなという印象を受けました。でも一方で、いろんな子どもさん達がいるということで、先生方のサポートというのにも必要なかなと感じた次第です。子どもたちが生き活きと活動していて、いい学校の雰囲気を感じることができました。

池谷教育長 次に、10月25日に文部科学省で開催された「都道府県・指定都市教育委員研究協議会」について、出席していただいた川村委員より、ご報告をお願いいたします。

川村委員

新任の教育委員の研修ということで、文部科学省に行って参りました。

午前中は文部科学省から説明があり、新学習指導要領、働き方改革、それから高等学校の動きということで、AI教育を進めていくというお話がありました。それと、生きる力、生き残る力と言うんでしょうかね、これからはそこに重点が置かれるということの解説がありました。午後は働き方改革についての説明と、意見交換でした。

最初の学習指導要領についてですと、以前のもの比べると1.5倍位にボリュームが増えていて、それと働き方改革が、どういうふうに調整していくかということが、説明を聞きながら、すごい課題だなと。教えなければいけないことはすごく増えているんだけど、一方で働き方改革を迫られているということは、大きな課題だと感じました。教育委員の役割の一つとして、カリキュラムとか、スクール全体のマネジメントがあり、例えば道徳教育にしても、道徳の教科だけでなく、他の教科とも連動しているところがとても大きいので、そういったところを上手くマネジメントするということが、これからは必要だというお話がありました。

あと、後半の座談会では、具体的に働き方改革ということで静岡市の例で、部活動応援の話が良い事例として挙がっていました。他では学校コーディネーターがうまく活動して成果を上げているという事例もありました。

座談会では同じくらいの自治体の規模ごとにグループ分けがされて、浜松市、相模原市、横浜市と静岡市の4名でお話をしたんですが、そこでは主に、部活って、ただのスポーツだけではなくて、その中にすごく人間教育や、居場所作り、子ども同士の関係作りという「部活」という名前に含まれるいろんな意味での教育があって、今までそれを先生が担ってきたというところを外部的化した時に、居場所作りとか人間関係作りの部分をどういうふうに保証するのかというところが、大きな課題だねという話を交わしてきました。

最後のワークショップの発表では、実践例ではなくアイデアとしての話ですが、校内清掃を障害者施設に依頼し、施設からリーダーさんも一緒に来ていただいて、子どもたちと一緒に清掃することで多様性を学ぶですとか、給食の時間には担任の先生の代わりに地域で食育推進の活動をされている方に入っていただいて、そこで食育をしたらどうか、丸つけについては退職した先生方にやってもらうのはどうか、というようなですね、具体的にできるかどうかは別として、アイデアとしては興味深いものが出ていました。

それから、不登校についてもグループワークで話が出たんですが、相模原市の成功例としては、生活困窮家庭に家庭教師を派遣し、子どもの学習に加え、お母さんの相談、シングルのお父さんの相談にのるということも並行してやっていくという事業をしていて、成果を上げているというお話がありました。これについての根拠となるデータは何っていませんが、私たちは総合教育会議で不登校をテーマにしていますので、それもありなのかなということちょっと考えました。ただ一方で、先日の総合教育会議で、「退職した先生方が不登校の家庭を訪問すると、かえってそれがプレッシャーにならないか」という発言をしたんですが、別の会で、学生さんたちが個別に家庭訪問することは、結構リスクが高いという指摘があったと聞きました。若い方だと、どういふご家庭かがわからないまま関わってしまうと、そちらにすごく左右されてしまうということがあって、そういう意味では不登校の子には違う関わり方をしたほうがいいのかという思いも持ちました。例えば、団地の中に空いているお部屋があった時に、一つのお部屋にベテランの退職した先生たちがいて、「いつでもおいで。」という受け入れ態勢にしておいて、別のお部屋で学習指導をするというような環境を整えとか、個別訪問ではなく、地域に開かれているような、そういった不登校対策もありかなと思いましたが、長くなりましたが、以上です。

(4) 議事

池谷教育長

それでは、議事に入ります。

お手元の資料、会議の流れをごらんください。

本日は、議案1件の審議を予定しています。また、その他の案件が1件あります。

なお、議案第16号は、今後市議会への提案を予定しているものです。これについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きの規定により、非公開の扱いとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各 委 員

異議なし

池谷教育長

皆様に御承認いただきましたので、これらの案件については非公開の扱いといたします。なお、非公開案件の審議については、公開案件の後に行うものとします。

(5) その他

○図書館電算システム更新に伴う図書館全館休館について

中央図書館長 資料に基づき説明

池谷教育長 この件につきまして、質問等ありましたらお願いいたします。

各 委 員 質問・意見なし

池谷教育長 この件については、引き続き市民の皆さまへの周知をよろしく
お願いします。

それでは、この件については、以上とします。

以上で公開案件を終了いたします。

ここからは非公開の案件となりますので、関係者でない方は御
退室ください。

<議案第 16 号 平成 30 年度補正予算案について> (非公開)

教育施設課長 議案説明

各 委 員 承 認

(6) 閉会

池谷教育長 以上で、平成30年11月教育委員会定例会を閉会します。

午後 2 時20分